

# Y I A 会員だより 2011 年 4 月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部 (Tel : 42-4115、Fax : 42-4499)

ホームページ URL : <http://www.tcu.or.jp/kamojima/yia/>



## 4 月の定例活動

### 定例理事会

日時：4月24日(日) 18:45~19:30

場所：瀬尾宅 (TEL0883-24-2762)

\* 日曜の夜は文化研修センターが閉館のため

### 英会話教室

ネイティブスピーカーとしゃべってみましょう!

鴨島教室 毎週木曜日 19:00~21:00

文化研修センター 2F、講師：メアリーさん

お問合せ：後藤田さん (TEL 0883-24-5234)

山川教室 毎週火曜日 19:00~21:00

山川公民館、講師：キャシーさん

お問合せ：真鍋さん (TEL 0883-42-2256)

川島教室 毎週水曜日 19:00~21:00

川島東公民館、講師：リーさん

お問合せ：市原さん (TEL 0883-24-5052)

### 日本語教室

【村上教室】(TEL 0083-24-8018)

<鴨島 文化研修センター>

毎週日曜日 13:30~15:30 (初級日本語講習)

講師：村上さん、藤野井さん、佐藤さん、

美馬さん

毎週金曜日 19:00~21:00 (中級日本語講習)

講師：村上さん

【手塚教室】(TEL 0883-24-1284)

<市場町コミュニティセンター>

毎週日曜日 10:30~12:30

<高川原公民館>

毎週日曜日 14:00~16:00

講師：手塚功さん

東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様とご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

### 【4~5月の活動予定】

機関紙「国際交流よしのがわ」第7号の発行

会員の皆様には会員だより4月号と一緒に3部ずつお送りします。県内の国際交流関係団体にも送付します。機関紙は教育委員会を通じて吉野川市内の公民館や施設、図書館などに配布します。ご希望の方は、瀬尾までご連絡ください。(TEL 0883-24-2762)

### 2011年度YIA総会と記念講演会

定期総会と記念講演会を開催します。お送りした葉書で出欠のご連絡と欠席される方は委任状を5月8日までにお送りください。

日時：5月15日(日) 13:00~15:30

場所：文化研修センター1Fホール

日程：13:00~14:00 総会

14:30~15:30 記念講演会

「韓国と日本をつなぐ国際交流」

講師：カン スンニムさん

\* 講演終了後、ロビーで交流会を行います。

\* 理事の方は会場準備のため、12:15にご集合ください。

### 【3月~4月の活動報告】

AJET ミュージカル支援(キャストに花束贈呈)

ミュージカル「宝島」TREASURE ISLAND の最終公演日に吉野川市のALTのメアリーさん、キャシーさん、リサさんに花束を贈呈しました。

鴨島英会話教室と山川英会話教室のみなさんが多数観劇に駆けつけました。

日時：3月20日(日) 18:00~20:15

場所：脇町劇場オデオン座

## 英会話教室 花見

今年は、東日本大震災のため商工会が「さくら祭り」を中止し、いつもの色とりどりの提灯が飾られていませんでしたが、懐中電灯を照らしながら、恒例の花見を開催しました。AJET ミュージカルを熱演した徳島市や北島町、鳴門市のALTらが多数参加し、一緒に花見を楽しみました。

日 時：4月7日（木）18:30～20:30

場 所；江川・鴨島公園

参加者：22名



ポットラックパーティーでいろいろなものを食べました。



満開の桜の下で記念撮影

## 徳島県国際交流協会 委託事業「生活支援講座」 (日本語教室) 事業完了

平成22年度「生活支援講座」の事業完了実績報告書を提出し、3月29日付けで承認を受けました。平成23年度も「生活支援講座」の委託事業(22万円)を受ける予定です。先生方のご尽力に心から敬意を表します。

<鴨島教室>

講師：村上さん、藤野井さん、佐藤さん、美馬さん

受講生：19名(中国、アメリカ)

授業回数：96回(前期46回、後期50回)

<市場・石井教室>

講師：手塚さん、受講生：31名(中国)

授業回数：92回(前期46回、後期46回)

## 【特別寄稿】日本語教室便り

村上瑛一さん

田青君のこと

3月13日(日曜日)、授業が終わった3時半過ぎ、ひとりの青年が遠慮がちに教室にはいってきた。誰だったかなと思っていると、「僕、田青です。先生覚えていますか」と言う。そこへお母さんが入って来て、私は4年前のことをまざまざと思い出した。平成19年5月27日、田青くんは義父の正木さんに連れられて日本語教室へやってきた。まだ日本語はほとんど話せなかったが、その日以降、脇町からお父さんかお母さんに連れられて熱心に教室に通ってくるようになった。

その頃私は、家内の病状が悪化し睡眠時間が3時間というような状態で、教室を休まなければならない日が増えていた。幸い藤野井さんが手伝ってくださるようになった時期で、藤野井さんは日本語の他に、田青くんのために学科の教材を渡すなどして支援してくださった。

翌年2月、田青くんは穴吹高校に入ることができて、正木さんがお礼の挨拶に見えられた。私が不在だったので、「田青(高校受験)合格いたしました。お世話になりました。ありがとうございました」という文面を託され、その晩ご丁寧な挨拶の電話までくださった。

3年ぶりに見る田青くんは見上げるような大男に成長していた。そして、山口大学工学部に合格しましたので、お礼の報告に来ました、とお母さんと共々に言うのだった。その夜、私は藤野井さんに電話した。藤野井さんもわがことのように喜んだ。

3月19日の徳島新聞に「日本語勉強」の見出しで、日本語弁論大会にも出場し、卒業生総代となって、大学現役合格を果たした田青君の写真入り的大眼睛の記事が掲載された。

日本語教室で撒いた「じょうろ」の水はささやかなものであるが、各種子たちは私たちの力のそとで、自らの努力によって成長し大輪の花を咲かせていっている。そして、私たちは、種子たちとの束の間の触れあいを、いま、貴重で意義あるものとして自覚させられるのである。

広報担当の坂本麗紅まで、ご意見・情報などをお寄せください。お待ちしております。

広報部長：坂本麗紅(088-696-3208)